

# 議会だより 水歌



若山牧水歌碑除幕式

**9月定例会** No.129

平成29年11月15日

発行：裾野市議会

- 平成 28 年度決算・総括質疑 …………… 2～3
- 委員会審査…………… 4～9
- 議案の賛否…………… 10～12
- 代表質問…………… 13～16
- 一般質問（6人が市政を問う）… 17～18
- 行政視察報告…………… 19
- 副議長の就任挨拶…………… 20

# 平成28年度

# 決算を認定

## 平成28年度 一般会計の決算状況

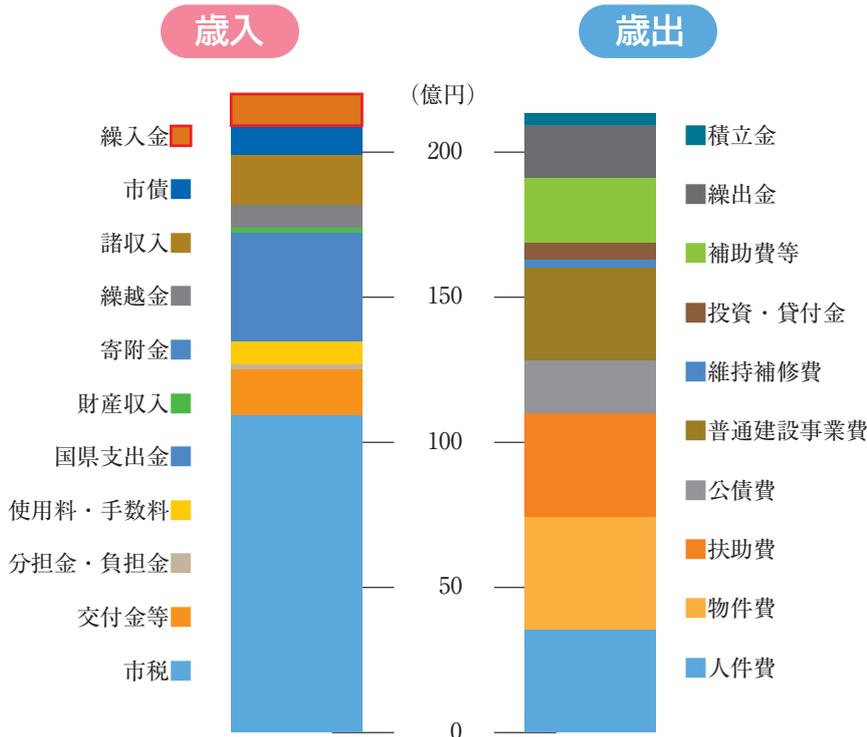
歳入 218億2,758万円

歳出 212億2,384万円

(歳入歳出差引額 6億374万円・・・ア)

実質収支…………… 5億2,504万円

→アから平成29年度に繰り越すべき財源を控除した額。



平成28年度は、実質収支で約5億円の黒字となりました。ただし、実質単年度収支は赤字です。

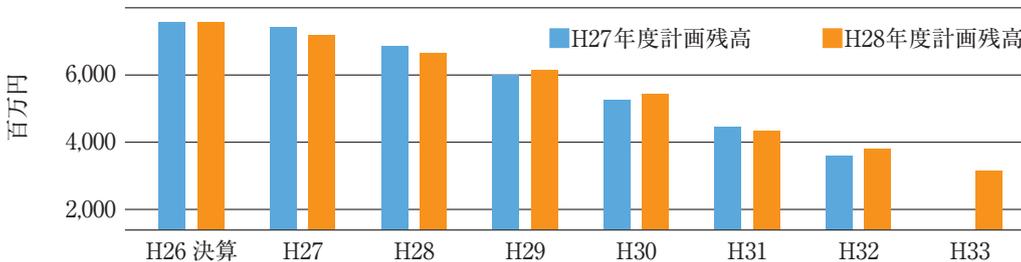
国等の補助金を活用しましたが、市税等の税収入は減少したため、財政調整基金(いわゆる貯蓄)を取り崩し、事業を実施したということです。

近年この傾向が続いているため、近い将来財政調整基金が底をついてしまうことが危惧されています。その状況は中期財政計画で示されています。

減少傾向の状況に併せて、平成27年度と平成28年度に作成した計画に基づく財政調整基金の予想残高は表のとおりで、総括質疑でも取り上げられました。

平成29年度の中期財政計画によると、平成34年度末での財政調整基金残高は13億円を確保することが目標となっています。

### 中期財政計画における財政調整基金残高(見込み)



### 総括質疑

**Q** 限られた財源を適切に予算配分する為に、歳出の効率化のみに比重を置く財政構造改革の推進では、住民の福祉が置き去りになってしまうのではないかと。

**A** 地方自治の住民の福祉とは、安心や幸福感という広義の福祉を意味するものであり、住民が何を求めているかリサーチし、最小の経費で対応しつつ、急激なサービスの低下や遅延を招かぬ

様、常に配慮した行財政運営を心がけている。

**Q** 行政改革大綱に、歳出構造見直しは急務で、市民サービスに影響をきたすおそれもあるが、市を存続させるためには段階的な

廃止、縮小もありうると記載されている。市民から様々な要望など寄せられるが、それらに対応せず、更に歳出抑制を行っていくという考えか。

**A** 住民福祉を切り捨てるのではなく、住民福祉を存続させるため様々な歳出に対してしっかり内容を精査し見直していくというものである。行政だけで進めるのではなく、住民の理解も得ながら進めていきたい。

**Q** 地方創生の取り組みを加速させ地域の活性化を図るため、多くの事業に取り組んでいる。その経済波及効果をどのように評価しているか。

**A** まち・ひと・しごと創生総合戦略でKPIを設定し、年度の振り返りを行っている。短期的な経済効果で表せるものは少なく、国も長期的な視点での評価を求めており、当初設定したKPIで評価しているため、経済波及効果の測定は行っていない。

**Q** 国民健康保険税で2億9,984万3千円の収入未済額が発生した原因は。

**A** 収入未済額は、平成27年度と比較して1,897万5千円の減であった。発生要因は、個々の状況によるが、病気や失業などによる所得減少によるものが考えられる。

**Q** 国民健康保険で資格証明書や短期被保険者証発行を減少させる取り組みは行われたのか。

**A** 国民健康保険税の滞納世帯に発行されるものであるが、滞納者に納税を理解してもらうことこそが減少につながると思う。

**Q** 国民健康保険の基金積立額3億4,029万1千円や、一般会計からの繰入を活用して未収に対応することは考えたか。

**A** 所得が減少し、納付が困難になるケースに対しては、分割納付などの方法を助言している。基金には条例で定められた上限額

があるため、その上限額に向けて積み立てる以外に用途を検討していない。

一般財源からの繰入は、それ自体を無くしていくのが国の方向性であり検討していない。低所得に対する軽減は、昨年度条例改正し対応している。

**Q** 決算審査意見書で指摘されている、事務処理の適正化に関して未だに改善が見られない所属の詳細は。

**A** 各種監査で指摘している事項を、今後も継続して改善を進めるべきであるという総括的な意見があった。具体事例の提示もあり、真摯に受け止め対応している。

**Q** 決算審査意見書で指摘されている、具体的ではない理由での随意契約の詳細は。

**A** 具体的に意見をいただいているものではないが、不備防止のため、分かりやすい指針として随意契約ガイドラインを平成29年1月に作成し、職員に周知した。今年度、研修もしており、平成29年度の契約事務で効果が現れると考える。



随意契約ガイドライン冊子

**Q** 実質単年度収支が大きなマイナス状況で続いているがどのように考えているか。

**A** 特に法人関係税などの見直しの影響で中長期的に市税は年々減少する中、財政調整基金を取り崩す状況となり実質単年度収支が赤字となっている。自主財源の安定的な確保と、歳出の効率化による歳出構造の見直しで、基金の取崩額を抑制していくことで、単年度の収支改善に取り組んでいきたい。予算編成方針などで示していきたい。

**Q** 平成28年度決算の状況から、今年度での事業廃止を検討しているものはあるか。

**A** これから協議する事項であり、現時点で決算による検討はしていない。

**Q** 決算状況を基に、予算執行や施策実施の効率化のため検討している組織改編はあるか。

**A** 決算に基づくものではなく、行政執行で検討するものであり、現時点で検討しているものはない。

**Q** 物件費の中で、人件費に準ずる費用の決算額はいくらか。

**A** 物件費38億346万9千円の内、賃金費相当額は、8億212万7千円である。

**Q** 物件費に占める人件費に準ずる費用が類似団体比で2~3倍という推移だが、分析は。(下図)

**A** 平成27年度財政状況シートでは、施設の点在、教育充実のための指導員や補助講師の配置、保育園など入園措置の臨時職員配置が影響していると考えている。



平成27年度市町村財政比較分析表(普通会計決算) 裾野市

# 予算決算委員会

## 総務分科会

### 企画部

#### 企画政策課

**Q** 先進地で行っているように市民意識調査を、アンケートとして行うだけでなく、当事者意識の醸成を図り、意見を市政に反映できるように取り組んでは。

**A** 経年比較もあり、アンケートそのものを変える際に参考にさせていただきたい。

**Q** 公共交通における市民の満足度が2.7%と非常に低いが、今後のアクションは。

**A** これまで無かった裾野市全体の計画として公共交通網形成計画を策定し、一つ一つ積み重ねて、市民満足度を高めていきたい。



裾野市自主運行バス運行系統図

#### 財政課

**Q** 財政調整基金の取り崩しを続けることで予算の先細りが懸念されるが、具体的な対策は。

**A** これまでもソフトランディングに取り組んできたが、今後は事業そのものを見直す取り組みも必要と考える。また、安定的な

財政運営を求めると減収補てん債に頼らざるを得ない状況であり、平成26年に行われた法人関係税改正、さらには平成31年10月の法人市民税率の引き下げが不安定な要因となるが、状況を見極めながら歳出構造改革を進めたい。

**Q** 土地開発基金の貸付金として、平松深良線などがあるが、貸付の流れは。

**A** 一般的に一般財源、一般会計が好ましいが、財源などで対応できない場合、また、年度内に事業化できない場合は土地開発公社で取得する。さらに、取得した土地を処分する際に長時間を要する事業においては基金で取得する対応となる。

#### 戦略広報課

**Q** 定住・移住事業として実施したセミナーや相談、体験ツアーなどで定住・移住に結びついた実績は。また、事業に参加された方のその後のフォローは。

**A** 移住セミナーなどを通じての移住者はない。不動産情報などをメールや手紙で提供した。



東京で開催の移住セミナー

#### 行政経営監

**Q** 職員の事業改善活動は、市民サービスの向上にどのような変化をもたらしたか。

**A** キャビネットの移動と収納形態の変更で、窓口の雑然とした部分がなくなった。また、1階ホール自体を広くすることで、市民が窓口に親しみやすい形となったと考えている。

### 環境市民部

#### 市民課

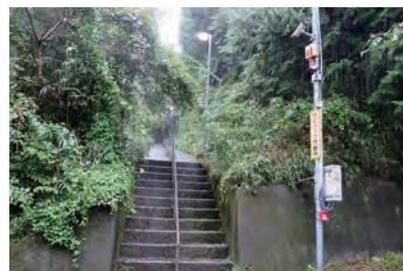
**Q** 自治会加入率減少への対策は。

**A** 総合計画基本計画では加入率85%維持を目標とした。窓口で、災害時に対する共助の必要性などを案内しており、区長連合会との話し合いも行っている。

#### 危機管理課

**Q** 東中学校、深良中学校の通学路以外にも防犯カメラの設置の検討はしたか。

**A** 検討していない。



通学路防犯カメラ

#### 生活環境課

**Q** し尿処理料金が衛生処理料金審議会で審議され、据え置きの方申が出されるまでにどのような議論があったのか。

**A** 3年ごとに見直しを行っているが、原価計算を行ったが変化がなく、業者からの要望もなかった為、結果据え置きとなった。

# で決算審査

**Q** 市営墓地の申し込み数が前年より増加した要因は。また、残数 78 区画を、計画しいつまでに全てを販売したいと考えているか。

**A** 販売対象者を市外へ拡大したことが影響している。残数は、来年度中に完売の見込みである。

## 美化センター

**Q** 施設維持修繕工事、委託業務の契約方法のほとんどが随意契約だが、どのような経緯か。

**A** 特定の 1 社の契約もあれば、見積り合わせによる随意契約もある。建設当初に携わった事業者が維持管理を行っている工事や委託は、随意契約となっているものもある。

## 出納課

**Q** 金融機関が破綻した際の補償を考えると、1つの金融機関では危険ではないか。補償できるものがあるのか。

**A** 確認していない。

## 総務部

## 管理納税課

**Q** 滞納整理で臨戸訪問を行う対象は。また、臨戸訪問を増やしていく考えはないか。

**A** 担当者の判断により、滞納額が比較的多く、臨戸訪問をした方が効果がある場合に行っている。現在は債権調査を中心に行っており、臨戸訪問を中心に行うことは考えていない。

## 人事課

**Q** 職員の職務満足度が大幅に減少している要因は。また、目標 63.6%に近づけるためにどのような検討がされたのか。

**A** 個別に様々な要因があり、分析は難しい。満足度を向上させる職場の環境づくりとして、人事評価などを通じてコミュニケーションを図り、職場の雰囲気良くする取り組みを行っている。



審査の様子

## 厚生文教分科会

## 教育部

## 鈴木図書館

**Q** 光熱水費で灯油代が増加した要因は。

**A** 外気温の影響でボイラーの消費が増加したため。

## 生涯学習課

**Q** 男女共同推進事業で各種委員会などへの女性の登用率は。

**A** 目標 35%に対し、平成 28 年度実績は 27.2% であった。

**Q** 市民体育館や裾野市運動公園などの修繕費の考え方は。

**A** 50 万円以下の修繕は原則指定管理者が行うものだが、経年劣化によるものなど指定管理者が負担するには不適なものは、協議の上、生涯学習課が修繕を行う。

## 教育総務課

**Q** 要保護・準要保護児童への新入学用品費の支給日を前倒しする必要性は。

**A** 入学に間に合う時期ということも含めて、調査・検討をして行く必要があると考えている。

**Q** 小中学校トイレ洋式化改修の進捗は。

**A** 平成 28 年度末で 76.3%まで終了した。



学校トイレ洋式化改修

## 学校教育課

**Q** 学校への図書館司書の配置はどのような検討があったか。

**A** 専門で配置することは難しく、市負担講師の業務の一部に組み入れる形で進めた。



学校図書室（東小学校）

## 学校給食センター

**Q** 小学校給食の喫食数の減額の内容は。

**A** 予算編成時に余裕を見ていた内の、1万 9,710 食分。

# 予算決算委員会

**Q** 育英奨学金の収入未済額 106 万 9,320 円への対応は。

**A** 返納期間経過者が 4 人いるが、現在も返済が続いており、状況を勘案し、返済計画を変更している状況。

**Q** 小中学校の不登校の状況は。

**A** 小学生が 9 人、中学生が 41 人で、多くは前年度と重なっている。100 日以上欠席者は小学生で 3 人、中学生では 28 人。

## 健康福祉部

### 子育て支援課

**Q** 家庭児童相談に寄せられる虐待の内容は。

**A** 親族からの相談が多く、虐待の種類は身体的虐待が最も多い。一時保護の実数は 12 人で内 1 人は年度内に 2 度保護した。

**Q** 放課後児童室の時間延長の利用状況は。

**A** 平成 28 年度から実施の 19 時までの開室延長は、平成 27 年度の試行時よりも利用人数は減少している。



審査の様子

### 子ども保育課

**Q** 平成 28 年度の保育所の待機児童数は。

**A** 年度途中の最大人数は 17 人。平成 29 年 4 月にはその 17 人も入園できている。

**Q** 公立保育園の維持修繕工事、備品購入の採用率は。

**A** 園の要望に対し応えられた割合は約 1/2 程度、公立幼稚園は約 1/3 程度。

### 社会福祉課

**Q** 老人クラブの加入者減への対策は。

**A** 役員の負担軽減として、事業報告などの事務手続きの簡素化や、社会福祉協議会で事務を担うなどの対応をしている。

**Q** 災害時要援護者避難支援計画個別計画作成の作成状況は。

**A** 希望者の全てに個別計画を作成した。

### 健康推進課

**Q** 1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診の事後の対応は。

**A** 保健師がその場の対応からその後の相談などに繋げている。

**Q** がん検診の受診率を高める取り組みの今後は。

**A** 目標値を 50% としており、県西部の取り組みを参考にしつつ検討したい。

### 障がい福祉課

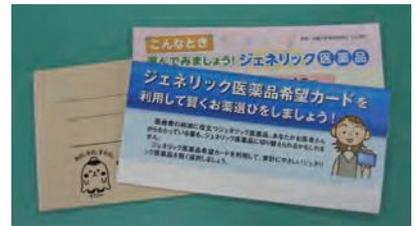
**Q** 放課後等デイサービスめだかの建物の返還で、予算が工事費から補償費となった理由は。

**A** 市が原状復帰の工事を行う契約だったが、協議で貸主が工事を行う事となり変更した。

### 国保年金課

**Q** ジェネリック推奨通知による効果は。

**A** 2 月調剤分は約 30 万円相当、8 月調剤分は約 20 万円相当の効果があったと考える。



ジェネリック通知発送

### 介護保険課

**Q** 裾野市地域包括支援センターでの 1 人欠員の影響は。

**A** 300 日程必要な人数が揃わなかったことで、対応の早さや、相談件数の減少などの影響があった。

## 産業建設分科会

## 産業部

### 商工観光課

**Q** 勤労者住宅建設資金補助を、平成 28 年度から利子補給制度に変えたが、変更理由と効果は。

**A** 固定金利のみの融資であったが、利子補給に変えたことにより変動金利と固定金利の両方に利用できるようになり、利用者にも分かりやすくなった。平成 28 年度の利用件数が 55 件となり、前年と比べ 37 件の増加となった。



審査の様子

# で決算審査

## 農林振興課

**Q** 屋上緑化推進事業で、平成28年度の事業で達成できたことは。

**A** 裾野市環境緑花組合の設立ができ、育苗、試験栽培を主に注力した。



屋上緑化の育苗の様子

## 渉外課

**Q** 市内、市外の企業訪問の中で要望把握をされたと思うが、どのような要望があったか。

**A** 市内大手企業を年2回副市長と同行訪問をしている。市として取りまとめインフラ整備、道路の渋滞解消や、交通網の整備が主な要望である。

## 建設部

### 建設管理課

**Q** 道路台帳更新作業委託が随意契約となっている理由は。

**A** 道路台帳については、既存データの更新のための委託事業で、競争入札に適さない。地方公共団体の規則に定めるもので、地方自治法施行令第167条の2第2項によるものである。

**Q** 土木総務費需用費の不用額約329万円の理由は。

**A** 光熱水費の電気料基本料金が安くなっている。また、道路照明灯の点検した結果で、照明灯17基の修繕を実施した。合

わせてLED化も行い、電気料が1/5から1/6に減少したため。

### 建設課

**Q** 国庫補助、県の補助が削減される中で、用地取得を積極的に進めることは検討されたか。

**A** 事業の進捗を図るため、公社買収などで先行し、市単独事業で行うなど、少しでも取得できる時期に取得し、適宜進められる状態に努めた。



下和田市道の買収済用地

### まちづくり課

**Q** 昭和56年以前で耐震対策を実施していない戸数と件数は。

**A** 耐震診断未実施の戸数は概ね2,700戸で、耐震補強工事を行った件数は220件。

**Q** 空き屋に関するアンケート調査を平成28年度に実施しているが、結果や今後の展開は。

**A** 結果は台帳にまとめ、空き家対策計画策定で活用していく。

### 区画整理課

**Q** 電線共同溝の埋設場所は、災害時のことを考え、狭い道路にも設置すべきでは。

**A** 歩道のない道路に電線共同溝を埋設すると、工事費などが高額になるため、費用対効果から歩道のない道路には埋設しないこととした。

## 環境市民部

### 上下水道課

**Q** 浄化槽パトロールの結果と維持管理の取り組みは。

**A** 業務委託で800件のパトロールを行い、清掃実績は172件で清掃率は22%となった。調査結果を台帳整備に反映し精度向上に取り組んだ。



浄化槽の街頭キャンペーンの様子

**Q** 十里木簡易水道の有収率が、毎年指摘されているが、平成28年度の対策は。

**A** 80%以上の水が漏れており、漏水地点の位置を確認し試掘工事後に送水管の布設工事を行った。

**Q** 借入金62億2千万円をどのように考えているか。

**A** 多額と認識している。今後、公会計に移行する中で健全経営に向けた取り組みを行いたい。

**Q** 公会計に移行する準備は、平成28年度決算からどのようになっているのか。

**A** 平成27～29年度が移行期間となっている。資産整理は概ね整理ができています。システムからの勘定科目、予算仕分けなど順調に業務は進んでいる。

# 【決算以外の議案の主な質疑】 常任

## 総務

### 第52号議案 市税条例の一部を改正

**Q** わがまち特例で特例を定める目的は。

**A** 今後、家庭的保育事業などの新規参入、現施設の拡充などにより、子育て支援をより推進したいため。

### 第53号議案 都市計画税条例の一部を改正

**Q** 既存の企業内保育所が対象とならなかった要因は。

**A** 内閣府の考え方は、認可外保育所の受入れ強化、定員拡大、新規参入などの促進に重点をおいたもの。定員を増やさないと対象とはならない。

### 第58号議案 平成29年度 一般会計 補正予算（第2回）

**Q** 交通安全対策費の免許返納による運転経歴証明書発行手数料助成10万円の根拠は。

**A** 現状では月に約17人の返納があり、発行手数料1,000円の100人分、6ヶ月分を計上した。助成は裾野警察署で返納した方で65歳以上の市民の方が対象。



免許返納の様子

**Q** 国庫補助事業費の内示に伴う減額約3億2千万円は建設部関係だけだが、他部署にはなかったのか。

**A** 社会資本整備総合交付金事業の減額が主であり、建設部のみの減額補正となった。

**Q** 補正総額が減額であり、昨年同様であるが、当初予算計上時に再点検すべきではなかったか。

**A** 過去の内示率を見込み、予算を組み立てたが、見込み以上に内示率が低かった。

**Q** 戸籍入力を業務委託から、職員業務へ戻す理由は。

**A** 職員の技術・知識の継承と法務局から戸籍経験のある職員の育成を促す意見もあり、業務を再考した。

**Q** 所得証明書、課税証明書などの発行を委託事業者が行っているが、個人情報保護の観点から問題はないのか。

**A** 仕様書で何重にも規定しており問題はない。

**Q** 窓口業務の委託料はこれまで年2,500万円から年3,500万円となった理由は。

**A** マイナンバー事務、記載指導係の設置など新規業務を追加したこと、窓口対応の件数が想定より大幅に増加したため。



市民課窓口

## 厚生文教

### 第54号議案 裾野市民文化センター条例の一部改正

**Q** 開館時間の変更には教育委員会の開催が必要か。

**A** 教育委員会内の規定による決裁区分で、その必要はない。

### 第55号議案 裾野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例の一部改正

**Q** 改正の対象となる該当者と市の負担額は。

**A** 幼稚園で47人、約50万円、保育園で98人、約160万円が想定される。

### 第57号議案 裾野市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

**Q** 高齢化が進む中、地域包括支援センターの増強に対する考えは。

**A** センターの増設や増員を次期計画策定委員会で検討していく。



裾野市地域包括支援センター

# 委員会・予算決算委員会分科会

## 第 58 議案 平成 29 年度一般会計補正予算（第 2 回）

**Q** セカンドブック事業の内容と今後の継続は。

**A** 平成 29 年度は 10 月からその月に 2 歳になる児童を対象とし、今後 3 年間は県補助を使い継続、補助終了後も継続したい。

**Q** 高校生等医療費助成事業の受益者負担と市の費用は。

**A** 月 2 回 500 円の窓口負担としたい。対象年齢の引き上げで扶助費に約 3,150 万円、手数料に約 250 万円の増加を想定。

**Q** 債務負担行為の市民文化センター等指定管理委託で、予算変化と効果は。

**A** 年間 4,000 万円強の増額となり、一括委託する生涯学習センターの職員 2 人分の削減効果の他、民間ならではの事業提案などに期待している。



新たに指定管理となる生涯学習センター

## 第 64 号議案 平成 29 年度裾野市一般会計補正予算（第 4 回）

**Q** 小規模保育所のための整備改修費用や事業者負担額は。

**A** 本体改修、外構、設計管理、備品購入費などで 3,200 万円。事業者負担は 1/4 の 800 万円。

**Q** この時期に追加議案で提案された理由は。

**A** 事業者と 5 月から相談を開始し、8 月末に県へ交付申請し

た。決定が 9 月当初には間に合わなかった。

**Q** この施設で、年度途中の待機児童に対応が可能か。

**A** 11 人の待機児童に対し、18 人の枠があり解消が可能。

**Q** 既存保育施設で待機解消が可能となる保育士増員を優先しない理由は。

**A** 全国的に保育士不足であり、待遇改善したが集まらない。小規模保育事業制度の応募に期待したい。

## 産業建設

### 第 58 号議案 平成 29 年度裾野市一般会計補正予算（第 2 回）

**Q** 企業立地促進事業補助の詳細は。

**A** すでに稼動している市北部の食品会社で、建屋建設に対する補助金である。

**Q** 女性の就業・起業支援実施事業の委託内容と費用は。

**A** 子育てする女性の活躍に関する情報収集に 42 万 9 千円、ヒアリングに 61 万円、就業相談に 50 万円、託児環境などの準備費に 60 万円を見込んでいる。



いわなみキッチン

**Q** 国庫補助事業内示に伴い、補助金の減額が大きくなっているが、橋梁長寿命化などの事業は先送りになるのか。

**A** 事業の見直しを行い進捗に努めている。具体的には東名跨道橋の 2 橋の補修工事は NEXCO と協定を結んでいるので実施する。その他 4 橋のうち 1 橋は来年度以降に行い、残り 3 橋は事業の見直しで実施していく。

**Q** 駅西土地区画整理事業で、補償金 1 億 3,050 万円の減額の影響は。

**A** 5 棟の補償を予定していたが 2 棟となる。残り 3 棟は来年度実施を予定している。来年度となる当該者とは協議をしている。

**Q** 柳端団地解体による居住者数と移転先、土地の返還は。

**A** 世帯数は 4 世帯、7 人で、転居先は舞台団地。年内の転居について了承済み。借地は更地にして返す。



柳端団地

**Q** 狩野川西部流域下水道維持管理負担金 409 万 4 千円の詳細は。

**A** 平成 28 年度分の過年度分負担金 529 万 7 千円が確定したことにより、平成 29 年度当初予算過年度分負担金 120 万 3 千円の差額分である。

# 議案の賛否

※全ての議案を掲載していますが、賛否の分かれた案件は賛否の一覧を記載しています。  
 ※議長（二見栄一）は採決には加わりません。

※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。

議席番号 議員名 議案内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	㉑	結果	
認定第1号	平成28年度一般会計決算を審議																				認定 (賛成多数)	
	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
認定第2号	平成28年度国民健康保険事業の歳入・歳出会計の審議																				認定	
認定第3号	平成28年度後期高齢者医療事業の歳入・歳出会計の審議																				認定	
認定第4号	平成28年度介護保険事業の歳入・歳出会計の審議																				認定	
認定第5号	平成28年度事業実施に伴う公用地取得の歳入・歳出会計の審議																				認定	
認定第6号	平成28年度十里木高原地区の簡易水道事業の歳入・歳出会計の審議																				認定	
認定第7号	平成28年度下水道事業の歳入・歳出会計の審議																				認定	
認定第8号	平成28年度市営墓地事業の歳入・歳出会計の審議																				認定	
認定第9号	平成28年度水道事業の歳入・歳出会計の審議																				認定	
報第10号	市財政状況を客観的に表す健全化判断比率および資金不足比率の平成28年度報告を了承																				了承	
第48号議案	水道事業の利益のうち、剰余金の処分内容を審議																				原案可決	
第49号議案	市表彰条例の規定に基づき、市長表彰を受ける者を審議																				原案可決	
第50号議案	教育委員会委員の任命を審議																				同意	
第51号議案	職員の育児休業などに関する条例の一部改正を審議																				原案可決	
第52号議案	国の法律改正に伴う市税条例の一部改正を審議																				原案可決	
第53号議案	都市計画税条例の一部改正を審議																				原案可決	
第54号議案	市民文化センター条例の一部改正を審議																				原案可決	
第55号議案	特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の利用者負担額定める条例の一部改正を審議																				原案可決	
第56号議案	介護保険条例の一部改正を審議																				原案可決	

議席番号 議員名 議案内容	① 岩井良枝	② 中村純也	③ 井出悟	④ 村田悠	⑤ 廣瀬主博	⑥ 小田圭介	⑦ 杉山茂規	⑧ 佐野利安	⑨ 三富美代子	⑩ 二ノ宮善明	⑪ 勝又明	⑫ 杉本平治	⑬ 賀茂博美	⑭ 芹澤邦敏	⑮ 増田喜代子	⑯ 岡本和枝	⑰ 小林俊	⑱ 内藤法子	⑲ 杉本和男	⑳ 土屋秀明	㉑ 二見榮一	結 果
第 57 号議案	裾野市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正を審議																				原案可決	
第 58 号議案	平成 29 年度一般会計補正予算（第 2 回）																				原案可決 (賛成多数)	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	-		
第 59 号議案	平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 2 回）													本年度執行中の事業の追加・ 変更に伴う補正予算の審議							原案可決	
第 60 号議案	平成 29 年度介護保険特別会計補正予算（第 2 回）																				原案可決	
第 61 号議案	平成 29 年度下水道事業特別会計補正予算（第 2 回）																				原案可決	
第 62 号議案	平成 29 年度水道事業特別会計補正予算（第 2 回）																				原案可決	
第 63 号議案	平成 29 年度一般会計補正予算（第 3 回）																				原案可決	
第 64 号議案	平成 29 年度一般会計補正予算（第 4 回）																				原案可決 (賛成多数)	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	-		
議員提出議案第 5 号	議員派遣を審議																				原案可決	
議員提出議案第 6 号	議員定数を審議																				原案可決 (賛成多数)	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	-		
意見書案第 1 号	道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書（案）の審議																				原案可決	

## 討論

## 認定第 1 号 平成 28 年度一般会計決算

### 反対

①地方創生、地域の経済活性化につながるとして、平成 28 年度も多くの補助金頼みの事業が取り組まれた。当局は、効果が出るのはまだ先と分析をしているが、毎年問題になっている事を優先して取り組むべき。②自動交付機が廃止され、マイナンバーカードによるコンビニ交付が推奨されたが、窓口交付が増え、市民課窓口委託の債務負担行為限度額が増えることになった。③安易に指定管理制度を導入すべきでない。④これから 10 年以上続く予定の駅西土地区画整理事業計画で、まちも人も活力をなくすことになる。効率化と受益者負担の追求ばかりでなく、市民の信頼に応える行政であって欲しい。

### 賛成

平成 28 年度に行われた事業は、予算決算委員会各分科会で十分な審査が行われ、予算はおおむね順調に執行されている。

財政力指数や各種指標は良好に見える財政状況だが、財政調整基金の繰入れ、減収補てん債の発行などで不足する財源を補っている点、国の税制改正、景気の変動などで、大幅な増収を見込めない状況がある。

各分科会で出された意見、指摘事項を十分に考慮し、個々具体の事業の検討や見直しを行った上で、より計画的・効率的な財政運営に努めて欲しい。

## 討論

## 第58号議案 平成29年度一般会計補正予算(第2回)

### 反対

● 市民課窓口業務の民間委託は必ずしもコスト削減・効率化につながらない。職員の人材育成につながらず、公務労働のノウハウが継承されない。

市民文化センター図書室も、生涯学習センターも、市民が健康で文化的な生活を営む権利、学ぶ権利を保障するための施設で、これに責任を持つのが行政であり、安易な指定管理者委託は許されない。

### 賛成

● 市民課窓口業務の民間委託は、第4次後期総合計画に取り入れると位置づけられており、民間活力により市民サービスの向上が図られている。職員も窓口を委託したことで、専門的知識を深められている。

生涯学習センターと市民文化センター図書室を文化センターと一括管理することによって人員の効率的配置、サービスの向上が図られる。

## 討論

## 第64号議案 平成29年度一般会計補正予算(第4回)

### 反対

● 保育士不足の問題に、早急な待遇改善の必要性をこれまで指摘してきた。箱は足りていて、保育士が集まれば、待機児童の解消につながるとの答弁だが、今すべきことは、この予算を待遇改善などに充て、必要な策を講じることである。

また、子ども子育て会議で協議されていないことも指摘されている。

### 賛成 (2人)

● 保育士確保の観点で、待遇改善を何度も指摘しているが、改善されないのは、保育士確保をないがしろにしていると云わざるを得ない。

本来、市が責任を持って保育士を確保し保育事業を進めるべきだが、現に存在する待機児童問題解決に効果があることは明確。

● 保育対策総合支援事業費補助金の活用で、施設整備が進められ、待機児童の解消と、公立職員の負担軽減が図られると期待できる。

## 討論

## 議員提出議案第6号 市議会議員の定数を定める条例の一部改正

### 反対 (4人)

● 定数削減は、住民にとって議会制民主主義の根幹である選挙に参与する権利を狭めることになる。議会の活動が見えないなどの声には削減ではなく、まず議会の機能強化を行うことが批判にこたえた前向きな取り組みである。

● 21人のどこに問題があり、クリアすべき課題がどこにあるか協議も共有もされていない。

今回の数字は類似団体との比較から割り出されたもので、自分たちの目指す議会について議論もされていない。残り1年で議論をしつくしていくべき。

● 議会の監視機能強化を図ろうとするならば削減すべきでない。かつての地方自治法定数が30人である当市で、21人は、法的にも何ら問題はなく最適である。

● 議会の果たす役割は、住民福祉の向上に寄与することであり、住民にとってそれが見えない議会であれば、まず改善し活動していくことこそ今すべきこと。

### 賛成 (5人)

● 区長連合会などから要望を受け、市民への聞き取り調査し、協議を重ねてきた。他自治体で削減したことで市民生活に支障をきたした、チェック機能が低下したとの報告はない。当市でも削減されてきたが、弱体化した事実はない。議員は市民からの付託に応えるためこれまで以上の覚悟と責任が求められる。

● 削減したことでの議会力の判断は市民がすべきもので、当市での状況は、努力した結果である。先の賛成討論に賛同するものではなく、みんなで決めたことで、合意事項として賛成する。

● 議会改革特別委員会において、十分に討議した中で導き出された結論である。

● 議論はし尽くされていると思う。

● 区長連合会などからの定数の見直し要望がきっかけだが、削減ありきできたわけではなく、市民の中からもその声がある中で、それに耳をふさぐわけにはいかない。定数の適正を議論してきた結果。

# 代 表 質 問

## 未来すその (5人)

芹澤 邦敏

**質** 行政のトップマネジメント体制で、戦略的な組織のための機能が十分に果たされているか。市政運営のスピードアップの事例と具体的な成果は。

**答** 副市長2人体制で迅速な意思決定を図り、国の緊急経済対策、地方創生関係の交付金や県の新規事業などを他市町と比較し多く獲得できている。例えば屋上緑化技術開発や、東西地区の道路整備の進捗がある。



北部まちづくりの事業用地

**質** 本市が目指すスマートシティ構築の具体的な内容と、水素ステーション誘致に対する市のスタンスは。

**答** 民間事業者が実施主体となり、北部地域のまちづくり基本方針を踏まえたまちづくりへの

技術的助言などを行い、電力の地域内利用の検討を依頼している。水素ステーションの誘致のみならず、エコシティ化の取り組みに向け、関連事業者、企業との連携や、情報交換の機会を検討する。

**質** スポーツツーリズムの促進で海外選手の受け入れのための環境整備をすることとなっているが、具体的取り組みは。

**答** ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致に向け、ともに事業を進めている御殿場市と研究を進めている。本年度は陸上競技場内のトイレ洋式化や体育館にWi-Fiを整備した。今後、他の環境整備も研究する。

**質** スポーツを軸とした本市の交流人口増加策として、スポーツ観光推進に向けた協議会設立と組織の考えは。

**答** 本年度内にスポーツ観光推進協議会を設立したい。協議会にはスポーツ団体、観光事業者、輸送事業者、宿泊施設の事業者など幅広く参加を呼び掛け、スポーツで訪れた選手らを市内観光へ誘導する方策を検討する。

**質** 有害鳥獣対策として本年3月に鳥獣被害対策実施隊の設置条例を制定したが、本市と近隣市町との条例内容の相違点は。

**答** 平成29年4月現在、東部で実施隊を組織するのは裾野市、御殿場市、富士宮市、富士市、沼津市。本市の実施隊員は捕獲活動を行えないが、他の4市は、実施隊員が捕獲活動を行なえる。

**質** 放課後児童室の運営で利用者ニーズの多いものは何か。また、運営主体の統合の考えは。

**答** 育成会役員負担が大きく運営の委託先変更の声が多い。また開室時間の更なる延長、学習支援の実施などの要望もある。運営主体の統合は、本市に適した運営方法を育成会や指導員と協議し、民間業者委託、協議会方式、各児童室の意向による選択制など様々な方策を検討する。

**質** 快適な学校環境づくりで、市内の小・中学校の施設整備推進の考えは。

**答** ICT機器の整備、エアコンの整備ともに大きな予算が必要で、耐震化などその他の施設整備も含め総合的に判断する。

## ………議会を傍聴してみてもいい………

議会の中継をしてほしいです。今日も1日傍聴することができないので、聞きたいところが聞けないまま帰らなければなりません。聞きたいと思っている人が聞けるようにしてほしい。それによって、「協働」がよりすすむのではないのでしょうか。 40代・女性

質問と答弁のズレを感じました。 70代・男性

傍聴席は満席である。元気な裾野市を期待しての傍聴席満員を肌で感じた。隣の長泉・三島市の元気を期待している。議会の運営に異議はないが、ここに集う市の要人・市長をはじめ市議のイノベーション精神を発見したく傍聴に集っていると感じた。我々は現状を満足としていない。期待している。

70代・男性

# 代 表 質 問

## はやぶさ (5人)

## 二ノ宮善明

**質** 市民協働の推進には、区長の役割と委嘱制度の見直しを一番に取り組む必要があるが、区長設置規則に関する行政内協議などは行っているのか。

**答** 見直しは慎重に取り組まなければならない。企画部、環境市民部、教育部、市長戦略監などで今後も検討していく。

**質** 地域住民の取り組みを側面からサポートするための地域担当職員の配置を要望するが、配置に対する見解は。

**答** 今のところ、配置は検討していない。

**質** 部長マニフェストの市ホームページだけの掲載では、多くの市民の目にとまらない。広報誌への掲載の考えは。

**答** 紙面・予算の関係もあるが今後の検討課題としたい。

**質** 駅西土地区画整理事業の西側整備区域の着手エリアは計画通りか。

**答** 来年度の設計委託において、西側区域北側の施工計画を作製予定。平成31年度から、

西側区域南側に着手する。

**質** 裾野駅前に駐車場が無く、多くの市民に不便をかけていることへの当局の見解は。

**答** 駐車場の設置は地元商店街や駅利用者の意見などを参考にしながら、設置場所や運営方法などを、引き続き検討していく。



裾野駅前

**質** 新学習指導要領により、小学校中学年での外国語活動、高学年での教科化に向けての課題は。

**答** 小学校教員の英語のレベルアップ、小中教員の連携、ALTの増員などが課題である。

**質** 「特別の教科 道徳」の取り組みと、課題は。

**答** 県主催・地区主催研修などに取り組み、子ども達の心を育てる評価に心がけるよう指導していく。



ALT授業風景

**質** プログラミング教育が小学校で平成32年度に、中学校で平成33年度に全面实施される。実施に向けた課題は。

**答** ICT機器の効果的活用、ICT機器研修の充実、時代に即したICT機器の整備などが課題。また、地域や企業と連携し取り組んでいく必要があると考える。

## .....議会を傍聴してみても.....

代表質問の質問・答弁を直接聞くことにより裾野市の抱える課題を、あらためて感じることができました。ありがとうございました。議員および市行政当局の皆さんの今後の活躍に期待いたします。  
60代・男性

議会広報は、発言者がわかるよう以前の形式で写真がある方が親しみがわく。顔写真をのせて。答弁は、あやふやな感じ。議員の取り組みが分かって市民としては心強く思った。  
40代・男性

傍聴者にも質問者が提出している資料を配布してほしい。傍聴者も資料を見ながらの方が理解しやすいと思う。当局の答弁をすべて控えきれないので、ぜひ、テレビ中継・YouTubeなど、後からもう一度確認できる施策を取ってほしい。仕事で傍聴できないときにもあると、とても助かります。  
40代・女性

# 代 表 質 問

## 公明党 (2人)

**質** 成年後見制度の相談窓口を設置し、制度利用促進を図ることに対する見解は。

**答** 当市では制度の利用や相談が少ないこと、また司法機関などとの連携が図られており、円滑な対応ができています。窓口の設置やネットワークの構築は現時点では考えていません。

**質** 市指定の避難所全てにエアコンの設置が必要と考えるが見解は。

**答** 市指定避難所28カ所の内、エアコンが設置済みの避難所は12カ所。残り16カ所の小・中・高校などの体育館にはエアコンが設置されていない。概算で体育館1カ所の設置費が約1億円と莫大な経費が掛ることから、現時点では設置を検討していません。

**質** 市内バス事業者との災害支援協定を結ぶ必要があると考えるが見解は。

**答** 避難所間の移動、災害ボランティアの移動、富士山噴火時の住民避難など人員輸送に必要と考える。市内バス事業者と協定締結の意向を伝えた。今後締結に向けて動きたいと考えています。



総合防災訓練の十里木バス避難の様子

**質** 障がいのある方が、一般就労へ進むことができるよう、

## 三富美代子

市の臨時職員として庁舎内で事務補助などの就労体験を実施することへの見解は。

**答** 配属する部署や事務作業とのマッチングなど受け入れ体制の構築が必要だが、就労を指導監督する職員の配置や経費、労働条件などの課題もある。障がい者団体や学校などの意見も伺いながら、先進地の取組みを参考に、支援策などを検討していきたい。

**質** 障がいのある方の雇用推進策として、中小事業所が新たに雇用した場合に、賃金の一部を助成する制度の導入への見解は。

**答** 雇用の継続や賃金への反映、効果の確認が困難な為、雇用主への間接的な支援は現時点では考えていません。

## 日本共産党 (2人)

**質** 立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の策定で、拠点連携型集約都市の実現に取り組むとされている。現状から将来の都市を考えると集約でなく、需要地への分散とし、地域公共交通網計成計画策定を最優先すべきではないか。

**答** 計画は、人口減少・高齢化社会と言った課題にも対応できる持続可能な都市経営を行うことを目的とし、裾野駅・岩波駅周辺を中心拠点とし、合併前の旧町村の中心部など複数の生活拠点を、公共交通ネットワークで結ぶ多極ネットワーク型のコンパクト化を目指す。公共交通の利用促進と、公共交通沿線への緩やかな居住誘導施策および公共交通で結ばれた拠点への都市機能の確保などの施

策により、一体的に検討する必要がある。将来的に一体化、融合することで、結果、裾野市が持続可能な都市になると考える。

**質** 駅西土地区画整理事業区域内の都市計画道路「桃園平松線」の道路幅18mの根拠や必要性は。

**答** 平成9年に都市計画決定され、代表幅員が18m、交差点が19mと定められた。区画整理区域内の道路幅員は、交差点に近接のため、全線で幅員19mを採用。

**質** 受動喫煙防止のため、市庁舎と花麒麟の間にある喫煙所は2階喫煙所へ統合しては。

**答** 子どもの発達と受動喫煙の関連を示す報告もある。施設の出入口付近であり、受動喫煙

## 岡本 和枝

への影響は少なからずあると認識している。別の場所に移動するよう検討している。

**質** 認証保育所「つぼみ」の年度半ばでの閉園と、補助金返還の経緯と対応を伺う。

**答** 平成28年4月に佐野地先に定員17人で開所した。利用者は7人程で、事業主から財政的に運営が厳しい旨の相談を受けた。運営の見直しや改善・継続について助言したが状況は変わらず、本年2月末をもって閉園した。その後、事業主に対し平成27年に交付した施設整備補助金全額の返還を求め、本年5月に債務弁済の契約書を取り交わし、分割返還とした。

# 代 表 質 問

## 歩志の会 (2人)

**質** 高村市政 4 年間の総括および基本政策の達成度は。

**答** 当初掲げた 4 つの方針は、まちひとしごと創生総合戦略、第 4 次総合計画に盛り込まれ、将来の豊かな裾野市に向け着実に進みつつある。

**質** 企業が取り組むワークライフバランスを推進するため、表彰制度などの支援策に取り組む考えは。

**答** 企業支援策は今後の課題として捉えている。ワークライフバランスを地域全体で推められるよう周知、啓発に努めていく。

**質** 障がい者差別解消法の合理的配慮として、学校教育に ICT 機器を活用する考えは。

**答** ICT 機器を特別支援教育に用いることは有効と考える。

**質** 高齢化が進む中、生きがい作り、社会参加への働きかけの現状と課題は。

**答** 高齢者が生きがいを持って、社会参加できる機会への支援を実施。多様化するニーズに応じた場の提供を図ると共に、講師やリーダーの確保に努め、効果を高めたい。

**質** 市長任期にやり残したことは。また、深良地区まちづくりに対する市長の決意は。

**答** まちづくりへ撒いた種を次へ展開していきたい。深良地区まちづくりがその一例となればとも考えている。まちづくり協議会への支援はこれまで以上に積極的に行っていきたい。地域の皆さんと行政で力を合わせて、将来に向けた大切な種を撒く準備をし

## 賀茂 博美

ていきたい。

**質** 重要施策と位置付けている深良地区まちづくりで、地権者の意向調査実施の考えは。

**答** まちづくり協議会と意見交換を行い機会を捉え実施したい。



深良地区まちづくり協議会視察

## 市民クラブ (2人)

**質** 駅西土地区画整理事業が事業延長するにあたり当該地区以外の市民に事業の必要性についての調査は行ったか。

**答** 事業の在り方や必要性について、調査を行ったことはない。

**質** 駅西土地区画整理事業が平成 41 年度末までの事業延長になるが事業費の増加額と財源は。

**答** 事業費増加額は 29 億 8 千万円で、一般財源を充当する。

**質** 国庫内示率が低い中、どのようなスケジュールで平成 41 年度末までに完成させるのか。

**答** 4 区域ごとの予算立てに対し、交付金の増額を要望し実施していく。

**質** 公共下水道事業には一般財源や市債、国庫支出金などが投入されている。個別浄化槽実施区域の市民に対し、税の再配分の観点で不平等ではないか。

**答** 現在、一般財源を繰り入れているため、今後適正な使用料の徴収により税負担が削減できるよう努める。

**質** 市街化区域内で下水道実施区域から抜けたコミュニティプラントを持つ地域を今後どうするか。



市街化区域内にあるコミュニティプラント

## 村田 悠

**答** 国・県の補助メニューや、類似事案や動向などの情報を収集し課題解決のために必要な事項を整理したい。

**質** 高村市政が掲げた田園未来都市とは何か。

**答** 約 30 名の市民委員に選んでもらったキャッチフレーズ、コンセプト、ビジョン。構想、計画、プラン自体は未策定。

**質** 田園未来都市というキャッチフレーズ一言では分かりづらい。都市宣言をされるなり市長のリーダー性を発揮されるべきだと思うが。

**答** 適時適切に市民の皆さんと話し合いながら、詳細を詰めていきたい。

# 一般質問

## 組織・体制



**質** 御宿台保育園と同様に指定管理が導入される北児童館の引継ぎが遅れているが、現状や今後はどのようにするのか。 (中村純也)

**答** 職員採用に関し説明会を実施した。不特定多数の方が利用し、各種団体の利用も多い。来年度スムーズに運営できるよう遅くとも10月までには協議を進めたい。

**質** 学びの森に、県職員である教師を指導する職員を配置した。現場は多忙を増す中、子どもも現場も必要とする講師や支援員などの増員にこそ予算付けすべきではないか。 (中村純也)

**答** 裾野の子ども達は裾野市で育てるという気概で、まずは教職員育成を市で行いたい。

**質** 平和都市宣言は市政運営の中でどのように生かされているか。 (岩井良枝)

**答** 戦没者追悼式、各地区の慰霊祭、学校での平和教育、鈴木図書館での愛と平和展などを実施。また宣言後に実施している中学生の広島派遣事業の取組みで生かしていると考えます。



◀平和への作文朗読

**質** 「平和都市宣言のまち」という看板は、市の姿勢をアピールする大きなツールと思う。看板設置の考えは。 (岩井良枝)

**答** しっかりした看板は考えにくい。いろいろな取組みをしている会場へ、宣言文のパネルを作り展示していきたい。また、市の公式ウェブサイトに掲載の宣言文を、わかりやすくするための検討をしている。

## 財政



**質** 当市の年平均5～6億円の実質単年度収支の常態的な赤字は、高村市長が就任して以降大きな成果が上げられていない。いつまでに、どのような形で改善を実現するか。 (井出悟)

**答** これから策定する中期財政計画の中で、財政調整基金の推計も示すことになる。それを見て年次を確認して欲しい。

**質** 当市の発展に貢献された年長者に敬意を示す敬老記念品を、平成27年度は対象者8,368人、額面でおおよそ2,142万円を配布している。一方で対象者は直近5年間で1,626人増加しており、今後老人福祉費は無条件で増加が見込まれる。歳出構造改革の緊急度、重要度の観点で敬老記念品のあり方に対する考えは。 (井出悟)

**答** 温泉利用券は、ヘルシーパーク裾野以外にも御殿場市、小山町で相互の施設が利用できるため変更には調整が必要である。また商品券は市内商店の振興も兼ねており、現時点では継続したい。しかし厳しい財政事情を踏まえ、市民、関係団体などの意見や、高齢者施策やその他施策との関連も踏まえ、見直しを含め検討する。



◀ヘルシーパーク裾野利用券

## 医療・福祉



**質** 後期高齢者に対し医療費自己負担分を上限付で還付する高齢者医療費助成制度で、240人余が実質医療費無料となる。子ども医療費でも完全無料ではなく受益者負担に公平性を欠く。即廃止すべきではないか。 (中村純也)

**答** 財政状況の厳しさは承知。見直すにしても、支援が必要な高齢者への他施策との整合性や優劣、効果などを判断しながら考えたい。

**質** 身体障害者手帳を持たない難聴児に対して、身体障害者手帳を持っている難聴児と同様に、1割負担の支援を行うべきと考えるが。 (佐野利安)

**答** 軽度又は中度の18歳未満の児童に対し、補聴器の新規購入、耐用年数経過後の更新、修理の経費の一部を助成している。助成額は厚生労働省の定める基準額と購入、修理の費用の2/3である。1割負担の支援は、手帳を所持し

# 一般質問

ている方に対する取り組みのバランスを考慮すると困難である。

## 安心・安全・防災



**質** 災害の観点からも森林保全、管理に力を入れるべきと考えるが見解は。(岩井良枝)

**答** 昨今のゲリラ的な集中豪雨などを見ると、災害がいつ発生しても不思議ではない状況である。森林の保全管理は、災害防止の観点から非常に重要であると考えている。常日頃から治山事業などは継続してやっていかなければならない。



◀台風による土砂崩れ

**質** 公共施設である美化センターにAEDの緊急な設置が必要でないか。(佐野利安)

**答** 委託作業員、工事作業員、来場者など多くの人がいることから、AEDの必要性は感じている。来年度予算で検討したい。

## まちづくり



**質** 平成26年8月都市再生特別措置法の一部が改正され、立地適正化計画が創設された。どのような制度なのか。(杉本和男)

**答** 急速な人口減少、高齢者の増加などを受け持続的な都市経営が出来るように、中心拠点や生活拠点に医療・福祉・子育て支援・商業などの都市機能を集約させ、生活サービスが効率的に提供できるようにする。そしてその周辺や公共交通の沿線に居住者を誘導することで、人口密度を維持し、居住者の生活サービスやコミュニティが持続的に確保できる、コンパクトプラスネットワークのまちづくりを目指す制度である。

**質** 計画策定に至る経緯の中で、市街化調整区域への考え方は。(杉本和男)

**答** 立地適正化計画は都市計画区域が対象となり、誘導は市街化区域内となるが、当市では市街化調整区域にも人口が分布しており、集

落や住宅地が形成されている。縁辺部の集落地や住宅地でも生活に必要な機能を維持することが必要である。コミュニティを維持しつつゆとりある居住環境の形成を目指す。

## その他

**質** 新火葬場に通夜が行える施設やペット炉の設置は。(内藤法子)

**答** 宿泊は想定していない。ペット炉の設置は、裾野市長泉町衛生施設組合で検討することになる。

**質** 書籍消毒機は今後利用者の声、活用方法などを考慮して検討していくとのことだったが、進捗状況は。(佐野利安)

**答** 設置費用も高価で、維持管理費も必要となることから現時点での導入は見送る。

## 文化・観光



**質** 第1回富士山すそのラリーは県内外から多くの来場者を迎え成功した。観光振興としての評価と今後の支援は。(内藤法子)

**答** 市内宿泊施設の利用などの経済効果と全国雑誌やマスコミに取り上げられ、シティプロモーション効果があった。市民協働によるまちづくりの好事例となった点、自動車関連産業が立地する当市のシビックプライドの醸成につながった点など評価できる。今後は産業部が窓口となる。



◀富士山すそのラリー

## 教育



**質** 旧勤労青少年ホームの1億500万円相当の土地と、建物の今後の活用方法と、保管していた裾野市史の処分は。(内藤法子)

**答** 建物を平成30年度に取り壊し、解体後の土地は売却処分も含めて考える。市史は現在保管している柳端団地の解体が今年度中に決定したため、無償配布の手続きをすすめる。

## 総務委員会 行政視察報告

平成 29 年 7 月 3 日 岩手県盛岡市

### 焼却施設の余熱利用

地域住民参加の「地域環境整備協議会・余熱利用部会」で、余熱利用施設のあるべき姿について検討を行い、熱利用施設整備計画に基づき、余熱利用施設を整備している。有効的な余熱利用の情報交換を行った。

平成 29 年 7 月 4 日 岩手県紫波町

### オガールプロジェクトについて

目的は町民の財産である町有地を安売りしないことにあり、補助金に頼らず、逆アプローチの不動産開発で、実行力のある施設の建設とリスクの

少ない事業展開を行っている。

平成 29 年 7 月 4 日 岩手県岩泉町

### 河川災害と防災施策

平成 28 年 8 月の台風 10 号による、災害発生時の被害状況の把握方法と対応、また、議会対応の情報交換を行った。



## 厚生文教委員会 行政視察報告

平成 29 年 7 月 5 日 香川県坂出市

### 市民後見推進制度

市長申立件数が増加傾向に伴い、市社会福祉協議会による法定後見が急増。後見業務受任者の確保が必要になったことで市民後見人養成が始められている。当市とほぼ同数の人口である坂出市の取り組みは、今後の後見人制度のあり方など参考にすべき点があった。

平成 29 年 7 月 6 日 香川県観音寺市

### 病児・病後児保育

隣接の三豊市との組合立で設置している三豊総合病院で病児・病後児保育が実施されている。当

初の病後児保育のみの実施に比べ、年々利用者も増加している事業で、最後の頼み・砦として取り組んでいることは、参考にすべきことであった。当市での必要性を考える参考になった。



## 産業建設委員会 行政視察報告

平成 29 年 7 月 19 日 岩手県花巻市

### 花巻市立地適正化計画

誰もが安心して健康で快適に暮らせる持続可能な都市の形成の実現に向けて具体的に推進するため「立地適正化計画」が策定された。当市でも平成 30 年に立地適正化計画を策定するため、情報交換を行った。

平成 29 年 7 月 20 日 秋田県仙北市

### 自動運転バス実証実験

自動運転のバスに人を乗せて公道を走らせる実証実験が、田沢湖畔の県道で行われた。国家戦略特区を申請しての実証実験で、国と自治体の関係

や、準備スケジュールなどの情報交換を行った。  
合併浄化槽の取組み

人口減少が進む仙北市では公共下水道実施区域を平成 33 年までに整備できる区域までと縮小し、合併浄化槽の補助を始めている。当市でも参考とすべき点が多くあった。



## 副議長の就任挨拶

この度、市議会9月定例会の最終日において、選挙の結果引き続き、副議長に就任いたしました。再任前と同様に誠心誠意、その職責を全うする所存でございます。

世界に例を見ない我が国の急激な人口減少は、当市においても既に減少期に入っており、併せての少子化・高齢化の進展、住民ニーズの多様化、厳しい財政状況など当市を取り巻く社会環境は大きく変化しております。

これらの変化に対応して、市民の生活力の向上や毎日の暮らしに満足できる裾野市の実現が求められております。

このような中で、市政に対する意思決定や監視、政策提言など議会の役割はさらに大きくなっており、しっかりと市民の負託に応えなければなりません。

当市議会では、議会改革に取り組んでおり、報告会、意見交換会なども実施しております。



また、議員定数を21人から19人に改正して、来年の選挙から施行することを9月定例会で決定いたしました。

市民の皆様の意見を代弁して市政に反映することが議会としての責務です。市民の議会に対する関心と信頼を高めるため、開かれた議会、活性化、改革などに取り組み、皆様の負託にこたえてまいります所存でございます。

副議長 土屋 秀明

## 議会傍聴にお越しく下さい

平成29年12月定例会(内定)

※予定は変更する可能性があります。

11月27日	月	本会議	10:00～			
11月29日	水	本会議	10:00～	12月4日	月	予算決算委員会 (産業建設分科会) 産業建設委員会
		予算決算委員会	本会議終了後			
11月30日	木	予算決算委員会 (総務分科会) 総務委員会	9:00～	12月5日	火	本会議 (一般質問)
				12月6日	水	
12月1日	金	予算決算委員 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	9:00～	12月8日	金	予算決算委員会
				12月11日	月	本会議(一般質問)
				12月13日	水	本会議

市役所5階の議会事務局で簡単な手続き(名前と住所の記入)を行えば、議会傍聴することができます。9月定例会の傍聴者は174人でした。

市役所1階のモニターでも本会議の様子をご覧いただけます。

### 編集委員

- 委員長……………杉山 茂規
- 副委員長……………岩井 良枝
- 委員……………廣瀬 主博  
村田 悠  
井出 悟  
中村 純也

### 議会をチェック!!

裾野市議会 検索

